

妊婦歯科検診

妊娠中は心と身体がとても大きく変化します。口の中も例外ではなく、唾液の量が減り、つわりで食事の回数が増えて口の中が汚れやすくなることにより、虫歯や歯周病のリスクが高くなります。むし歯菌は、お母さんの唾液を通して子どもに感染します。また、歯周病がひどくなると早産につながることもあります。

生まれてくる赤ちゃんの為に自分の口の中の環境を知り、良い環境を整えてあげられるよう、下呂市では妊婦歯周疾患検診の費用を補助しています。この機会に是非受診しましょう。

※虫歯がある場合でも、妊娠中は治療の制限や出産直後の治療が困難な場合もあります。

治療については先生と相談して進めていきましょう。

【対 象 者】	下呂市に住民票がある妊婦
【受診期間】	妊娠中(状態が安定している妊娠 16 週～27 週が目安)
【受診方法】	市内の歯科医院(裏面参照)に予約をして受診
【持 ち 物】	・ 検診票(問診を記入) ・ 検診費用 500 円 ・ 母子健康手帳(検診結果を記入してもらいましょう)

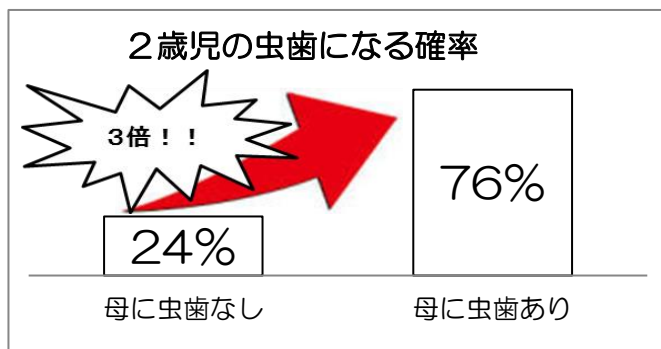
●お母さんの歯の健康

妊娠中は何か食べたあとは必ず「磨く」習慣をきちんと守ることが大切です。気分が悪くハブラシが使えない場合は、なるべく糖質の食べ物は控え、食べた後は口をゆすいで食べカスを取るなど、お口の中をいつもキレイにできるように心がけましょう。歯周病は日頃の丁寧なブラッシングで予防ができます。

出産後、ホルモンのバランスが落ち着くことで症状は改善しますが、放っておくと歯周病になるため出産後のケアもしっかり行いましょう。

●こどもの歯の健康

赤ちゃんの乳歯の芽は妊娠7週～10週頃、永久歯の芽は妊娠3～4ヶ月頃にでき始めています。乳歯は生後6ヶ月ごろ生え始め、2歳半から3歳くらいまでに20本が生えそろいます。乳歯が虫歯になると、永久歯も虫歯になりやすく、歯並びも悪くなります。虫歯菌は大人から移ります。お母さんに虫歯があると子どもも虫歯になりやすいことが分かっています。



資料：『妊婦と歯科治療とカウンセリング』東京臨床出版

早めに虫歯を見つけ治療することが、お子さんの歯を守ることに繋がります。



●家族の歯の健康

年度末年齢が20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の方は市の歯周疾患検診を受けることができます。家族も一緒にご自分の歯の状態を知るために検診を受けましょう。

【医療機関】 ※下記の医療機関以外での補助は受けられません。

医療機関名	住所	電話番号
小木曽歯科医院	小坂町大島 1755 番地 8	0576-62-3690
みやだ健口歯科	萩原町宮田 1542 番地 1	0576-54-1192
粥川歯科医院	萩原町萩原 1337 番地 22	0576-52-1174
すわのもり歯科	萩原町萩原 1369 番地	0576-53-2088
ふたつや歯科医院	萩原町上村 840 番地 2	0576-52-4700
はぎわら歯科	萩原町花池 155 番地 3	0576-53-2150
青島デンタルクリニック	森 801 番地 36	0576-25-3141
下呂フォレスト歯科	森 439 番地 1	0576-25-5552
(独) 県立下呂温泉病院	森 2211 番地	0576-23-2222
八原歯科医院	宮地 436 番地 3	0576-26-3830
蔡歯科医院	金山町金山 2078 番地 11	0576-32-3344
下呂市立金山病院	金山町金山 973 番地 6	0576-32-2121

※各歯科医院へは診療時間内にお問い合わせください。

お問い合わせ先

保健センター（こども家庭センター） 0576-52-1230

